

## 令和元年度第2回福井県嶺南地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：令和2年1月30日（木）14時15分～

場所：リブラ若狭2階 講堂

### 1 開会

### 2 あいさつ

- ・福井県交通まちづくり課 西野課長

### 3 議事

#### (1) 嶺南地域公共交通網形成計画（案）について

- ・資料1、2に基づき、概要について事務局より説明

#### (意見交換)

川本会長

- ・資料1の概要が外に出るものになると思うが、言葉としてわかりにくいものが二つある。一つが「Ma a S」で、できれば注意書きをしていただくとよい。もう一つが、「5 公共交通利用を促進する意識の醸成」のところで、「モビリティ・マネジメント」と書いてあるが、これもなじみがない言葉である。交通分野の人にはわかるかもしれないが、一般の方にはなんだろうという感じになるので、少し補足いただけるとよい。
- ・もう一点、「3 公共交通サービス情報の充実」のところで、「嶺南地域の複数の市町を移動する」とあるが、これは同じ嶺南地域の中のお隣同士の話だと思う。情報共有ということで案内の充実という話が出ているが、嶺南地域という全体の広い範囲でやっているため、観光客の話もあったように、京都の北部と結ぶという話や、福井の中でも嶺北地域との接続ということもポイントになるはず。バスでいえば若江線で小浜とのつながり、近江今津とのつながりもあるという考えで、隣接の府県との情報共有も大きいレベルだと必要だが、この記載ではそれが明示的に出ていない。複数の市町というのが、例えば舞鶴市とどうのこうのというのではなく、京都北部とこちらということでもつながらない。敦賀から乗り換えてこちらに入るということを考えると、福井の方でそういう情報がわからないと、来てから考えるというのではなくて、事前に考えてくるという話があるかと思う。嶺南地域をまとめて、この地域の入り口のところを情報提供するというで明示的に入れた方がいい。

事務局

- ・説明を省いている部分もあるが、資料2の99ページを見ていただくと、複数の市町とあるが、県外の話も書かせていただいております、意識はしている。若江線や若狭ライナーの話も書いている。北近畿との連携も今後大事になってくると思うので、それも含めて修正したい。

#### 西野委員

- ・委員というよりも、事務局の立場で捕捉させていただく。今ほどの川本先生のご指摘については、事務局から説明させていただいたとおりで、確かにタイトルだけを見ると「複数の市町」というのは嶺南地域だけの話のように見えてしまうので、そこは表現を工夫するよう事務局でも整理したい。
- ・資料2の93ページから、資料1の2枚目の施策が書かれている。例えば、97ページからは1から11の施策ごとに事業主体が整理されている。104ページから106ページにかけて、この5年間でどのように施策を進めていくかという工程表が書かれている。108ページと109ページには指標が書かれている。資料1の方では「主な指標」ということで省略しているものもある。施策の方向性「日常の移動手段」については、小浜線の年間利用者数とともに、定期利用者数も指標に入っている。観光の方では、「嶺南地域を回る際に公共交通を利用する観光客の割合」があり、アンケート調査で行った37.9パーセントを50パーセントにするという目標で、資料1には書かれていなかったものになる。109ページはモビリティ・マネジメントそのものと、意識啓発をすることによってJRやバスの利用者も増えるだろうということで利用者数を再掲という形で指標としている。補足させていただく。

#### 川本会長

- ・資料1では全部書ききれないということで、捕捉いただいた。
- ・他には何かないか。

#### JR西日本

- ・昨年10月25日、26日にWILLER TRAINS様より丹後くろまつ号をお借りして、小浜線に乗り入れ運行させていただいた。乗り入れ運行にあたり嶺南6市町の皆様、福井県の皆様、そして若狭観光連盟の皆様をはじめ、力強くお力添えいただき感謝申し上げます。おもてなしや各駅での盛り上がり、観光列車でお越しになるお客様をお迎えする体制など、嶺南地域の観光というものを考えていただける非常によい機会になったと考える。一回のイベントではあるが、このような機会を活用しながら、来る北陸新幹線敦賀開業に向けた機運向上につなげていただきたい。
- ・また、昨年末に発表させていただいたが、今年3月14日に小浜線のダイヤ改正を予定している。これまではご利用の多い時間には列車の車両数を増やすという対応となっていたが、その結果他の時間帯の列車設定の制約となっていた。この度、嶺

南地域公共交通活性化協議会で議論させていただく中で、高校の始業時間を調整できれば、朝の通学・通勤時間帯におけるお客様を分散させることで、複数の列車を設定できるという考えに至った。結果的に両数は減ることとなるが、分散して乗車いただけるような案内周知も含め、利用促進につながるようお力添えをお願いしたい。

またこの両数見直しにより、朝時間帯の小浜から敦賀方面に向かう列車の所要時間の短縮にもつながった。ぜひご活用いただきたい。

- ・北陸新幹線敦賀開業に向けた機運向上について、当社として様々な取り組みを行っているが、北陸新幹線の座席ポケットに月替わりで入れている「西N a v i 北陸」の1月号に2018年9月にオープンした年縞博物館を特集させていただいた。東京から金沢までの間ではあるが、北陸新幹線をご利用いただいているお客様に観光情報としてお届けしている。ぜひ、お客様に敦賀を起点とした広域周遊観光につなげられるよう頑張っていきたい。引き続きお力添えをお願いしたい。

#### 川本会長

- ・早速ダイヤを見直していただいたということで、市町の皆様もバスとの接続を展開されているところもあるので、いい循環になるよう協力いただけるとありがたい。

#### 敦賀市

- ・昨日、事務局の方から資料をいただいて目を通して、概ね、方向性としてはそのとおりかと思う。ただ先ほど会長がおっしゃられたとおり、資料1の概要の方に、「M a a S」や「グリーンスローモビリティ」など、専門用語で一般的になじみのない言葉が使われており、概要の方が目に触れることが多いと思うので、説明を加えていただけるとよい。
- ・2番の「駅周辺への都市機能の誘導」という項目の中に、「スマートタウンを整備する」という項目が目につくが、エネルギーコースト計画の中にこのような施策があるということは承知しているが、直接、交通網形成計画の中にこれを加えるというのはちょっと違和感があるように感じる。

#### 川本会長

- ・先ほどご指摘いただいたところで、「グリーンスローモビリティ」についても、最近使われているが、一般の人にわかりにくいいため、同じようにあつかっていただけるとよい。
- ・二つ目にご指摘いただいた「スマートタウン」については、直接、交通の話じゃないということで、浮いた感じになっているかもしれないが、まちづくりと連携したという括りが入っていて、エネルギーコースト計画の中でも謳われるということで、文面に入っている。これがどうのこうのということではなくて、と捉えさせていた

だく。

#### 美浜町

- ・まずは取りまとめをしていただき、感謝申し上げます。資料2の8ページ、Aコープ美浜店の写真はパブコメ時には差し替えをお願いします。
- ・前回の会議の時に、できるだけ来年度以降も県と一緒にやっていける形でお願いしたいとコメントしたが、今日の資料を見ていると、事業の実施主体の行政のところは県と市町となっており、今後もこのまま進めていいたいただきたい。

#### おおい町

- ・資料2の8ページのところ、ママストアーおおいは営業を停止しているので写真の差し替えをお願いしたい。
- ・先ほどのJRさんの話で確認させていただきたいが、小浜線増便の件で、若狭高校はぎりぎりうまくいくとお聞きしているが若狭東高校がどうなっているのかということと、県立高校との始業時間の調整は福井県さんの方で行っていただいているという考えでよいか確認したい。

#### 事務局

- ・高校への説明はJRさんと一緒にまわらせていただき、ダイヤの改正に合わせて、始業時間をずらす必要がある高校、若狭高校はずらしていただいているが、そういった対応をそれぞれご検討いただいて、調整をした結果、この線で何とかいけるだろうということでお話いただいた内容になっている。

#### 川本会長

- ・時間を変更するというのは難しく、お互いに寄りながらやるということがある。これからの地域のこともあり、今回、答えをいただけてありがたい。

#### 嶺南広域行政組合

- ・資料2の25ページのところに、嶺南地域振興推進協議会の企画によるゆるキャララッピング車両について説明があり、現在は運行している状況だが、来年度中に車両の車検を迎えるということで塗装をはがすことになっており、そのまま終了するという事になっている。現状の書きぶりとしては間違いはないが、終了することだけお伝えする。

#### 川本会長

- ・来年、これはもう見られないということか。

#### 嶺南広域行政組合

- ・具体的な時期はまだ決まっていない。秋以降になるかと思う。

#### 中部運輸局

- ・オブザーバーという形で参加させていただいている。鉄道事業者についても地域の声を聞きながら進めていただけたらと思うが、地方鉄道の状況を見ると、少子化が進み、どこも伸び方が少ないという状況の中で、外からの人をどのように入れていくかということで、観光振興、訪日外国人をいかに増やしていくかということ、各鉄道会社で進めているところである。今回の計画を見ても、そういったことを含めているいろいろな計画をされていて、色々な事業をやる上で一定の目標を決めて、評価をして継続するのか、改善するのか、そういった観点で進めていただけたらいいのではないかと思う。

#### 川本会長

- ・外部からの取り込みというのは非常に大事な話になる。

#### 福井鉄道

- ・バスに関する新規事業では、小浜線を補完するバスがあり、空いている時間に走るとか運休時に走るとかいうことを意味していると思うが、小浜線が運休するときにはバスも走りにくい状況である。嶺北地域では電車代行もやっている。天候の悪いときはバスも走れない状況になるため、そういった時にバスを走らせるというのは難しい。高速バスであれば計画運休もある。
- ・運転手不足について支援いただけることはありがたい。バス運転手不足については厳しい状況。事業を継続する上で、人員を確保するのは非常に大事。従業員の平均年齢は65～70歳になっている。現状を維持するのも難しい。応募者がかなり少なく、55歳以上の求職者を狙っているが、福井では60歳を超えている人ばかりで、その人を採用してもあと何年働くことができるのかとなるが、それについて支援いただけることはありがたい。

#### 大和交通

- ・計画については十分網羅されていると思う。業者として思うことは福鉄バスさんと同じ。利便性向上のための代替交通手段の確保や小浜線を補完するバスはどう走らせるのかと思う。具体的に走らせることを考えると、どういった方法があるのか。私たちが人員の確保は難しく、高齢化もしており、バスはお金を出せば買うことができるが、人の確保は難しい。

#### 川本会長

- ・バス乗務員の確保は重要だと思う。それについても明示して書いてはどうか。

#### 事務局

- ・「市町現行バス路線等の持続的な運行」のところに記載させていただいている。

#### 川本会長

- ・ちょっと弱いかもしれないので、明示的に「乗務員の確保」と入れていただくとよい。

#### 小浜市

- ・資料2の38ページの小浜市あいあいバスのマップについては、路線を見直しているため差し替えをお願いしたい。
- ・小浜線の朝の増便はありがたい話だが、小浜線にバスのダイヤを合わせようとする、あいあいバスや名田庄線には中学生も乗車しており、時間を変えると早く着きすぎて校門が開いていないという状況になる。利用者も多く、県や学校など関係者の方とまた協議をさせていただきたく、お願いしたい。
- ・事業実施にあたって設置する分野別ワーキングについては、「それぞれの役割分担のもと」と書かれているが、市町としても主体的にやりたいと思っはいるが、県に取りまとめ役をお願いしたいと思っている。積極的にお願いしたい。

#### 川本会長

- ・県のほうにもリーダーシップが求められていると思うので、引き続きお願いしたい。

#### 高浜町

- ・「8 公共交通不便地区における移動手段の確保」については、高浜町ではぐるりんバスの運行を始めた。今後地域主体のものも増えてくるのではないかと思う。この項目については、事業主体の地域のところにもマルがあった方がいいのではないか。
- ・この形成計画についてはこれまでの課題をまとめておられて、今後の目標なり、方向性については示されていると思うが、例えば、ICカードを使ったキャッシュレス化は各駅で本当にすべてができるのか、そのあたりも問題であるし、駅のバリアフリー化についても、現在は高浜駅には昇降機があるが、実際にはあまり使われていない状況で、実態も踏まえて本当に必要な設備かどうかということも一緒に考えていかなければならない。
- ・周遊観光については、全般的な方向性は問題ないが、インバウンドも含め、外国語の表記とか、駅のナンバリングも進んでいると聞いている。周遊観光を考えるとそういう視野も必要だと思うので、関係者にもご協力いただきたい。

川本会長

- ・交通不便地区のところについては、まさに地域が主体となってくる部分になるため、追加したい。
- ・インバウンドへの対応も重要で、引き続き検討をお願いしたい。

若狭町

- ・いよいよ計画が動き出すというところで、町のほうで運行しているコミュニティバスも、これからさらにその環境が良くなるようにしていかなければならないということで、令和2年の1年かけて工夫をしていきたい。先日そういった査定があり、運行環境を整えるよう取り組んでいきたい。

三方五湖青年会議所 渡辺委員

- ・概要について意見はないが、「2 まちづくりと連携した施策の展開」のところで、三方駅には社協が入っていてカフェもあり、子育て世代が集まる場になっている。駅に色々な団体が入ることによって、鉄道を使わない人も集まるような流れも作ってほしい。駅に人が集まる数や交通利用者の相互関係なども調査してほしい。

川本会長

- ・「小さな拠点」、「まちの駅」のようなイメージで、駅に利用者がいると温かみもあり、イメージも良い。今後も調査で拾わないといけないものもあるため、それにあわせて検討いただきたい。

内外海公民館 野村委員

- ・高齢化が進んでおり、移動手段の確保に取り組んでいるが、団塊の世代にアンケートをとると危機感を持っている人が少ない状況。80歳を超えると運転免許返納ということも考えるようだが、団塊の世代ではまだ運転できるということで公共交通を利用しない、使ったことがない。乗合バスは通学では役割を果たしているが、買い物や病院には使われていないことが悩み。不便地区における移動手段は住民が中心となって考えていかなければならないと思う。

川本会長

- ・モビリティ・マネジメント、意識を変えていくという話につながると思うが、その時になってからバスに乗ろうと思っても難しい。「今乗ることができるからいい」のではなく、今のうちから1回、車がなくなるとどうなるのかということを考えてほしい。そうするとバスや鉄道がどうなっているということに目が向くはずで、そういった機会をどうつくって、地域の方々でもつくっていただけるかということになってくる。モビリティ・マネジメントの目標もイベント等開催件数として倍増ぐ

らいになっているが、そういったことを地元でもいろいろと展開してやっていくと、この目標も軽々と達成して、少しでも利用されるようなことにもつながると思う。

#### 舞鶴市

- ・資料1の概要の中で、「敦賀～京都北部（舞鶴地区）間の時間短縮」というものがあるが、我々からすると、舞鶴地区というのはどの単位のことなのかがわかりにくい。例えば、「舞鶴市」や「舞鶴市周辺」という表現でもいいのではないかと思う。

#### 川本会長

- ・どう修正するかはまた考えさせていただきたい。

#### 嶺南振興局若狭企画室

- ・同じ県の立場でもあるが、計画策定ということからいよいよ実行ということになるため、各部局とも調整してやっていきたい。一度に全部をやることは困難なので、優先順位を決めて、しっかりやっていきたい。嶺南振興局でもトライアル予算が新たに設けられ、その中でできることがないか検討をしていたが、引き続き来年度以降も検討していきたい。

#### 川本会長

- ・皆様にご意見や感想をいただいたので、それを踏まえて、最終バージョンに仕上げたい。細かい文言の修正については、事務局に一任いただくということをお願いしたい。

#### (2) 今後の進め方について

- ・資料3に基づき、事務局より説明

#### 川本会長

- ・今後も協議会で進捗管理を進めていきたい。
- ・県や市町においては議会への説明もあると思うが、交通のことは公共交通会議の場でもしっかりと情報共有いただき、進めていただきたい。
- ・優先順位については、新幹線開業が一つのタイミングになると思うので、それに向けて、その期間中に終わらせることなどがあると思うが、今後の協議会で検討していくことになるかと思う。
- ・他に質問はないか。

#### 小浜市

- ・ワーキンググループについては、メンバーはこの協議会メンバーだけになるのか、



観光でいうと例えば若狭湾観光連盟などもメンバーになるのか。

事務局

- ・具体的に施策を進めていこうとすると関係者は多い方がいいと思っており、ベースはこの協議会のメンバーになると思うが、特に観光についてはいろいろなプレイヤーがいるので、協議して進めていきたい。

川本会長

- ・他に何もなければ以上で終了とさせていただく。

事務局

- ・いただいたご意見を踏まえ、調整させていただく。その他に修正あればご連絡いただきたい。

#### 4 閉会